

交渉情報	NO.113	日本郵便(株)信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2022年5月12日	添付資料:32枚

2022年度お中元期における業務運行の取り組みについて

日本郵便(株)信越支社 郵便・物流オペレーション部は、本日(5月12日)「2022年度お中元期における業務運行の取り組み」について、地方本部に説明してきました。

2022年度お中元期の取り組みについては、コロナ禍における大口荷主の動向を注視して引受個数の日別予測を踏まえ、業務量に応じた適切な要員配置となるよう計画(コストコントロール)したうえで、業務運行の確保に向け取り組むとしています。

なお、2022年度は「取り組みのポイント」から重要項目を基本方針で示すことにより、重要項目と一般項目を分かりやすいように様式変更し、基本方針の項目3を変更したとしています。

1. 業務計画

全国の引受予測個数(期間:7月1日(金)~7月31日(日))

種 別	引 受 予 測	
	個 数	対前年
ゆうパック	5, 314万個	101.2%
ゆうパケット	3, 635万個	105.2%

※ 引受予測個数については、今後の動向を踏まえ変更する場合は別に通知。

2. 重点取組事項

- (1) 安全の確保
- (2) 品質の維持・向上
- (3) コストコントロール関連
- (4) 送達日数の繰下げ後のオペレーションを考慮した業務計画
- (5) 緊急連絡態勢の構築
- (6) 保冷ゆうパックの取組状況の点検
- (7) 「お中元期の取組のポイント」に基づく取組の実施

以上、7項目(重点取組事項の詳細については、支社資料②を参照してください。)

3. 2021年度との変更点

(1) 基本方針

概 要	2022 年度	2021 年度
安全の確保	基本方針に記載	お中元期の業務運行取組のポイントに記載
品質の維持・向上	基本方針に記載	お中元期の業務運行取組のポイントに記載
送達日数の繰下げ後のオペレーションを考慮した業務計画	基本方針に記載	—
緊急連絡態勢の構築	基本方針に記載	—
保冷ゆうパックの取扱状況の点検	基本方針に記載	お中元期の業務運行取組のポイントに記載
	点検者 旧集配センター(併設窓口局を含む)およびエリアマネジメント統合局(窓口機能を含む) ⇒受持局管理者が実施	点検者 旧集配センター(併設窓口局を含む)およびエリアマネジメント統合局(窓口機能を含む) ⇒部会内社員が実施

※ 基本方針の詳細については、支社資料②を参照してください。

(2) お中元期の業務運行取組のポイント

概 要	2022 年度	2021 年度
接遇・マナー指導方法	荷物配達ハンドブック(冊子または接遇特化版)の活用およびバイク以外での対面配達時におけるキャップ着用の徹底を追記	—

※ お中元期の取組のポイントの詳細については、支社資料③を参照して下さい。

地本は、コロナ禍での業務量に応じたコストコントロールの趣旨は理解するものの、郵便制度改正以降のリソースシフトの状況が見えないことから、状況の把握とともに要員配置計画を確実に実行し、要員対策に万全を期すよう、また、自然災害が多発する時期であることから社員の安全確保が第一であり、その場合には速やかな作業の中止判断と安全衛生の観点から取り組み期の熱中症対策について求めました。

支社は、郵便制度改正以降の状況について、様々な角度から状況把握を行い労働力の確保に向けても取り組んでいく。社員の安全確保について指導を徹底する。また、熱中症対策についても、昨年同様の取り組みを行うとの考え方を示しました。

標記業務運行の取り組みに対して齟齬や問題が発生した場合は、単局窓口等で対処するとともに地本へ連絡願います。

【労使対応】 情報提供